

## 5 福祉・サービスへの取り組み

### (1) 配達サービスの実施状況

総数では配達している割合が92.6%であった。業種別に見ると、卸売業と小売業の両方が最も高く97.3%、次に卸売業のみ88.5%、小売業のみ85.2%と続いている。配達先の状況では、「飲食店」が最も高く、卸売業のみで69.2%、卸売業と小売業の両方で87.1%となっている。次に「事業所等の食堂」が高く、卸売業と小売業の両方で77.9%、卸売業のみで59.6%である。小売業のみは飲食店、個人への配達の割合が高い。

(表-15) (図-34)

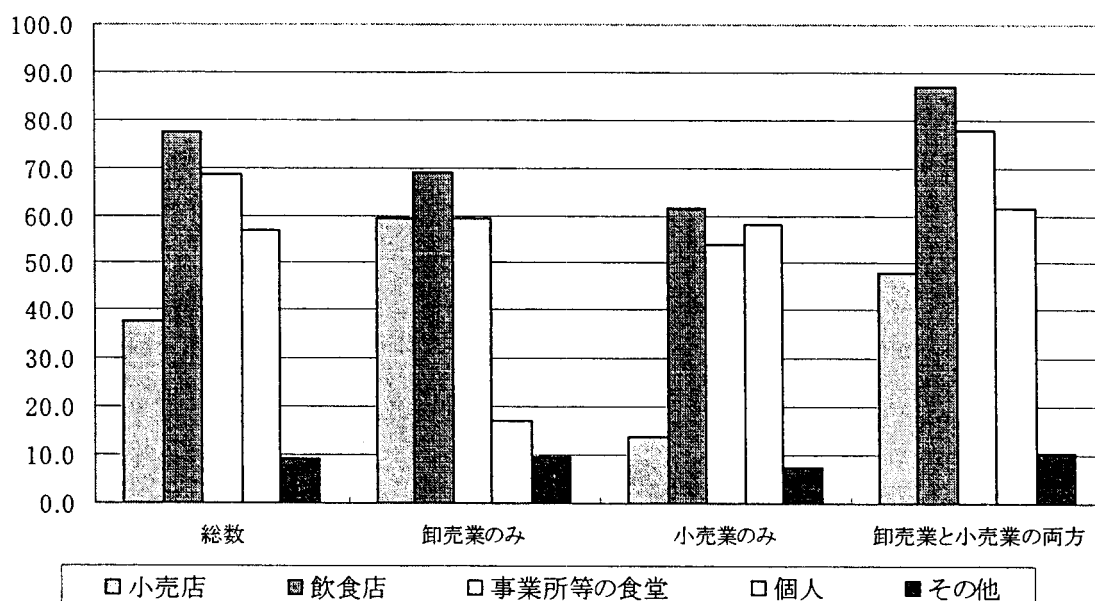
表-15 配達サービスの実施状況

(単位：%)

		総数	卸売業のみ	小売業のみ	卸売業と小売業の両方
配達 している		92.6	88.5	85.2	97.3
配達先の状況	小売店	37.7	59.6	13.9	48.2
	飲食店	77.2	69.2	61.3	87.1
	事業所等の食堂	68.5	59.6	53.9	77.9
	個人	57.0	17.3	58.3	61.3
	その他	9.4	9.6	7.4	10.5
	不詳	0.3	0.0	0.4	0.2
配達 していない		7.1	11.5	14.3	2.4
不詳		0.3	0.0	0.4	0.2

図-34 業種別配達先の状況

(単位：%)



## (2) 商品の表示状況

商品の表示の状況を総数で見ると、「部位」が最も高く 93.9%、続いて「原産地」83.8%、「牛个体識別」68.0%となっている。

一方、「カロリー」や「挽肉比率」はそれぞれ 1.3%、22.4%と低い。

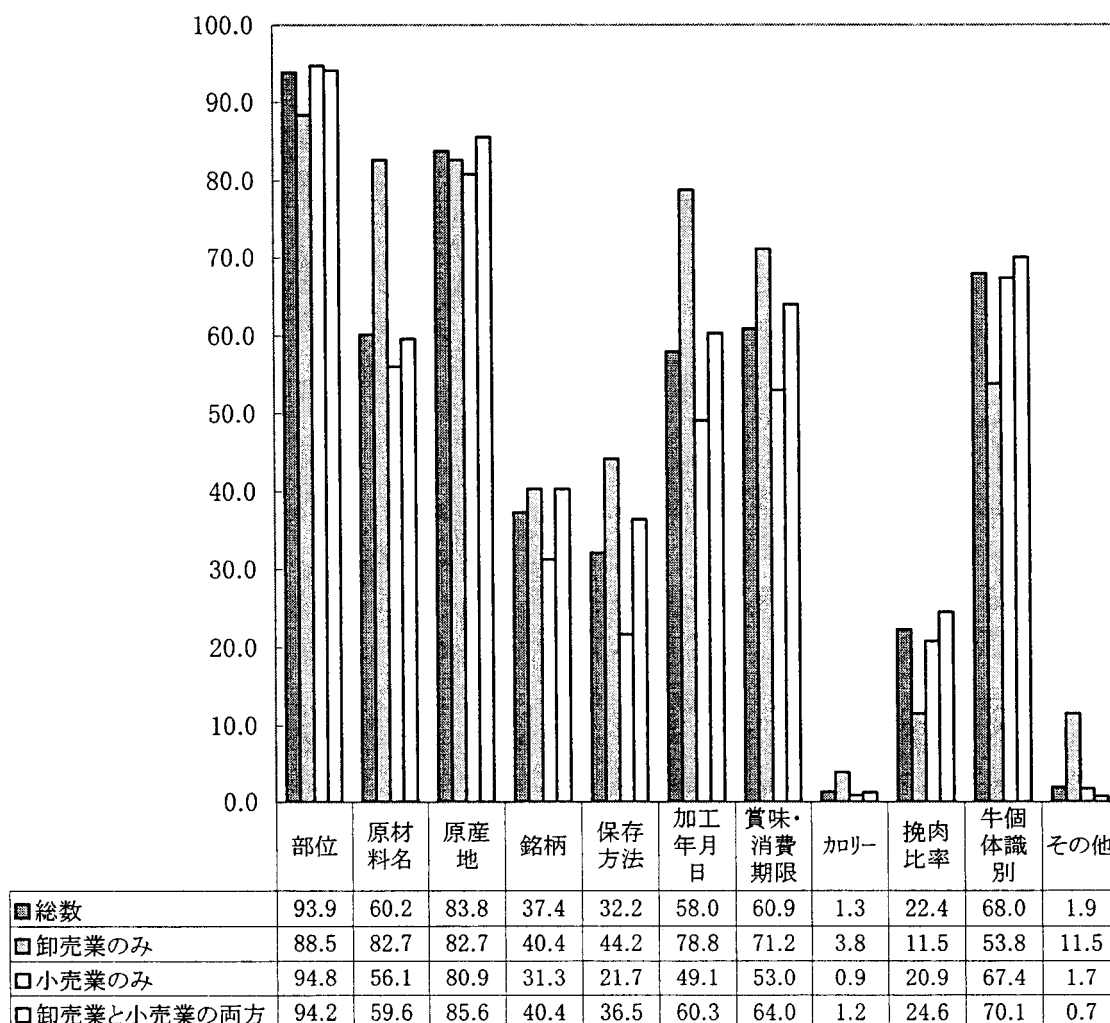
卸売業のみでは「部位」が最も高く 88.5%、次に「原産地」、「原材料名」が同率の 82.7%で続き、「加工年月日」78.8%と続いている。

「加工年月日」と「賞味・消費期限」の割合は他の業態と比較して高いことがわかる。

小売業のみでは「部位」が最も高く 94.8%、次に「原産地」80.9%、「牛个体識別」67.4%で続いている。卸売業と小売業の両方も小売業と同じく「部位」が最も高く 94.2%、次に「原産地」85.6%、「牛个体識別」70.1%と続いている。(図-35)

図-35 商品の表示状況

(複数回答) (単位:%)



### (3) リサイクルの状況

「リサイクル等実施あり」は総数で80.8%、営業形態別では、卸売業のみ78.8%、小売業のみ80.9%、卸売業と小売業の両方81.0%と高い割合である。リサイクルの実施方法は総数で「ごみの分別」が68.4%、次に「業者と連携」28.0%が続いている。卸売業と小売業の両方の実施率が高くなっているものの特に営業形態別での大きな差異はみられない。

「リサイクル等実施なし」は総数で18.9%、営業形態別では、卸売業のみ21.2%、小売業のみ19.1%、卸売業と小売業の両方18.5%である。

リサイクル等実施しない理由では、「手間がかかる」7.5%が高く、「方法説明」4.8%が次に続いている。

「手間がかかる」は卸売業のみ、小売業のみで総数以上、「費用不足」は卸売業で総数以上であるが、営業形態別での大きな差異は見られない

(表-16)

表-16 リサイクルの状況

(単位：%)

		総数	卸売業のみ	小売業のみ	卸売業と小売業の両方
リサイクル等実施あり		80.8	78.8	80.9	81.0
実施方法(重複回答)	業者と提携	28.0	25.0	27.4	28.7
	ごみの分別	68.4	59.6	67.8	69.8
	食器再利用	13.6	9.6	15.2	13.1
	その他	3.5	5.8	3.9	2.9
リサイクル等実施なし		18.9	21.2	19.1	18.5
理由(重複回答)	手間がかかる	7.5	9.6	8.7	6.6
	費用不足	5.1	7.7	4.8	4.9
	方法説明	4.8	7.7	4.8	4.4
	その他	3.5	5.8	3.0	3.4
不詳		0.3	0.0	0.0	0.5

### (4) 情報化の状況

パソコン設備がある店は59.0%であり、卸売業のみが78.8%と最もある割合が高い。次に卸売業と小売業の両方の65.5%が続いている。

設備の種類は総数では第一に「経営収支の計算」38.1%、続いて「顧客名簿の管理」31.0%、「インターネットの活用」29.4%となっている。

営業形態別を見ると、卸売業のみでは「経営収支の計算」63.5%、「顧客名簿の管理」53.8%の順であり、小売業のみも「経営収支の計算」24.3%、「顧客名簿の管理」18.3%の順であり、経営に活用されている。卸売業と小売業の両方では「経営収支の計算」42.6%、「インターネットの活用」35.8%と情報化が進んでいる。

「HPの作成」は卸売業と小売業の両方が高いものの全体に低調である。

「顧客名簿の管理」「経営収支の計算」は卸売業のみが高く、小売業のみとの間に 39.8 ポイントの差がある。

「インターネットの活用」は、卸売業のみ、卸売業と小売業の両方が高い。

総じて、卸売業はパソコン設備を有する割合も 78.8%と高く、その活用も充実している。一方、小売業はパソコン設備のない割合が 56.5%と過半数を超えており、活用度合いも比較的低調である。(表-18)

表-17 情報化の状況

(単位：%)

		総数	卸売業のみ	小売業のみ	卸売業と小売業の両方
パソコン設備	あり	59.0	78.8	43.0	65.5
	なし	40.5	19.2	56.5	34.3
	不詳	0.4	1.9	0.4	0.2
設備の種類	HPの作成	19.2	21.2	12.6	22.6
	顧客名簿の管理	31.0	53.8	18.3	35.3
	経営収支の計算	38.1	63.5	24.3	42.6
	食材等の購入	23.1	48.1	8.3	28.2
	インターネットの活用	29.4	40.4	15.7	35.8
	その他	7.4	7.7	8.7	6.6

## 6 経営上の問題点と今後の方針

### (1) 経営上の問題点

図-36 は経営上の問題点として複数回答した項目を割合の高い順に示したものである。

第1位「客数の減少」70.6%が突出して高く、第2位「施設設備の老朽化」41.1%、第3位「諸経費の上昇」38.4%となっており、経営上の最重要な問題点がほぼこの3項目に共通してみられることがわかる。また、小売業のみでは第3位に「立地条件の悪化」41.3%をあげている。(表-18)

図-36 経営上の問題点（複数回答）（単位：%）

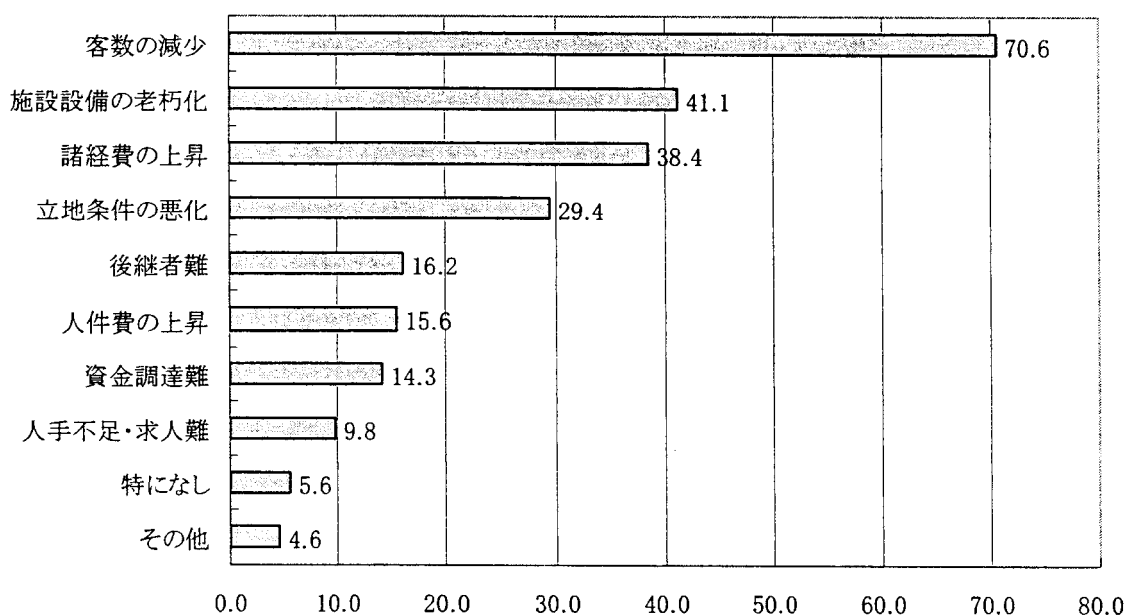


表-18 経営上の問題点（複数回答）（単位：%）

	総数	卸売業のみ	小売業のみ	卸売業と小売業の両方
客数の減少	①70.6	③50.0	①79.1	①68.4
立地条件の悪化	29.4	9.6	③41.3	25.3
人手不足・求人難	9.8	11.5	8.3	10.5
後継者難	16.2	13.5	20.4	14.1
資金調達難	14.3	17.3	9.1	16.8
人件費の上昇	15.6	26.9	9.1	17.8
諸経費の上昇	③38.4	①53.8	33.0	②39.4
施設設備の老朽化	②41.1	②51.9	②42.6	③38.9
その他	4.6	5.8	4.8	4.4
特になし	5.6	9.6	3.9	6.1

## (2) 今後の経営方針（複数回答）

図-37 は当面の対応策として複数回答した項目を割合の高い順に示したものである。第1位「顧客サービスの改善」47.3%、第2位「銘柄肉等の品揃え」39.0%、第3位「施設・設備の改装」36.5%、第4位「デリカ等加工食品」34.2%、第5位「広告・宣伝の強化」26.3%となっており、最重要問題点はこの5点に集約される。（表-19）

図-37 当面の対応策（複数回答）（単位：%）

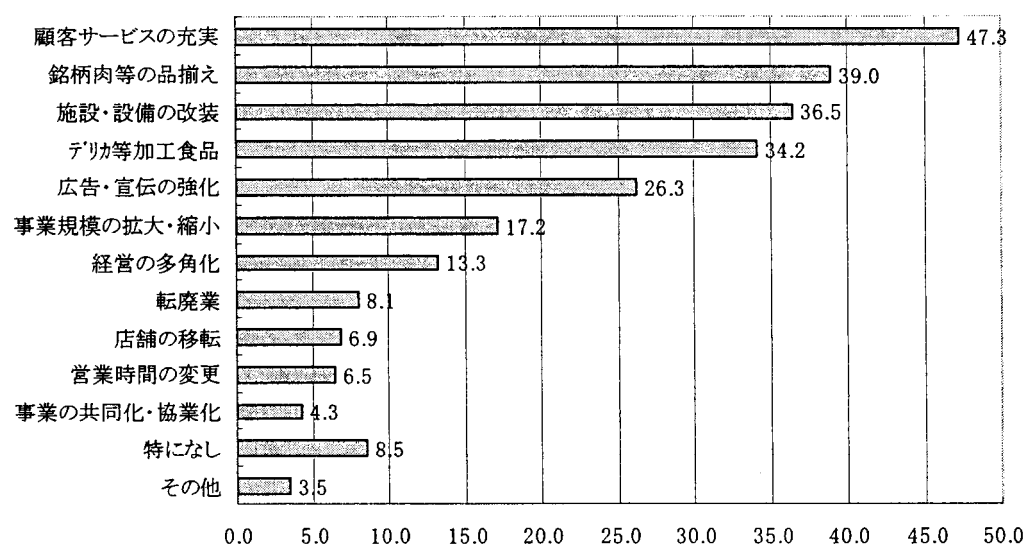


表-19 当面の対応策（複数回答）（単位：%）

	総数	卸売業のみ	小売業のみ	卸売業と小売業の両方
施設・設備の改装	③36.5	②34.6	④31.7	③39.4
広告・宣伝の強化	⑤26.3	5.8	⑤26.1	⑤29.0
営業時間の変更	6.5	5.8	7.8	5.8
事業の共同化・協業化	4.3	7.7	3.5	4.4
事業規模の拡大・縮小	17.2	①38.5	10.4	18.2
経営の多角化	13.3	13.5	9.1	15.6
店舗の移転	6.9	3.8	7.4	7.1
転廃業	8.1	9.6	12.6	5.4
顧客サービスの充実	①47.3	③28.8	①45.7	①50.6
銘柄肉等の品揃え	②39.0	④26.9	②40.0	②39.9
デリカ等加工食品	④34.2	⑤23.1	③36.1	④34.5
その他	3.5	5.8	3.9	2.9
特になし	8.5	9.6	10.9	7.1